

日本レディースバドミントン連盟だより



J.L.B.A.

Vol. 9

日本レディースバドミントン連盟とともに

副会長 木本 由孝

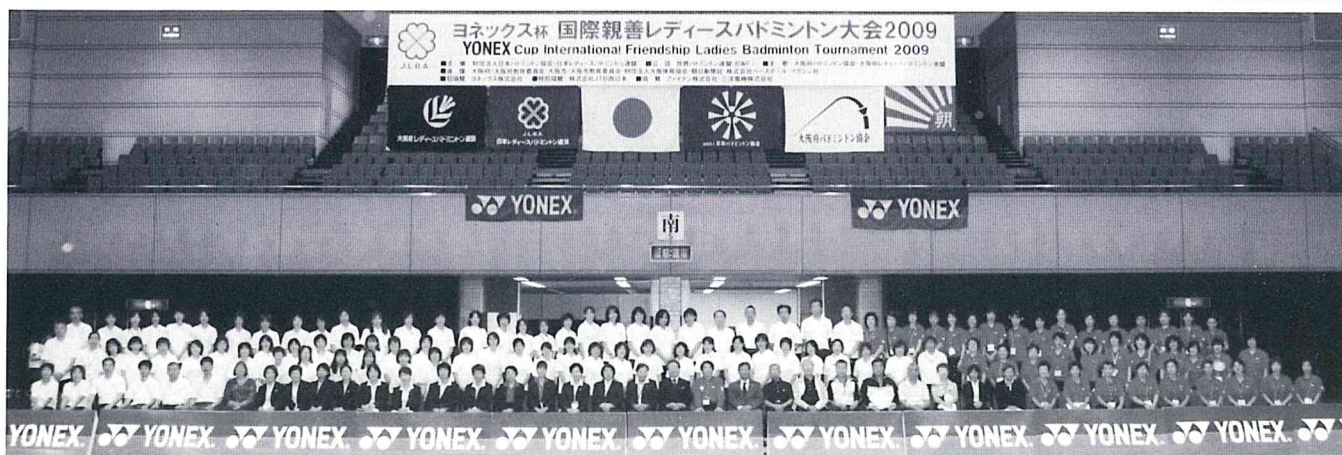


会員の皆様におかれましては、希望にあふれた新しい年をお迎えになったこととお喜びを申し上げます。時の流れは早いもので、振り返ってみますと前戸田会長時代から、長い役員の人としてその席を汚してまいりましたが、おかげさまで歴史を知る貴重なひとりになったのかと考えております。思い起こしますと、慣れ親しんだ家庭婦人バドミントン連盟の名称から近代的な日本レディースバドミントン連盟に移り変わる大きな節目を経験し、また歴代の会長にもお遣えをして、今日この連盟の様変わりを見るにつけ隔世の感があります。これもひとえに女性パワーというか、皆様方のためまぬ努力と限らないエネルギーをもつて、今日のりっぱな組織になってきたものと、歴代の役員の方をはじめ、現役員の皆様、さらにはご協力をいただいていた多くの皆様方に心から感謝をし、御礼を申し上げる次第であります。

国際大会を地道な形で今日まで継続をしてまいりましたが、このたび日本バドミントン協会の行事として、この国際大会が今後開催されるというはこびになりましたことは大変大きな飛躍であります。皆様方の力でここまで連盟を強固な組織として運営されてきたことは見事なものであります。

しかしながら組織が大きくなればなるだけ、その目標・目的を明確にして致団結して進めていかなければなりません。他のスポーツでは会員が減少する中であつて、レディースバドミントンの会員だけがしっかりと維持をし、むしろ増えていく傾向にあるということは、いかに足腰の強いスポーツであるかということをうかがわせるものであります。念願の団体戦、個人戦を別々に開催し、受け入れていただくそれぞれの各地区連盟のおかげで、それぞれが盛會裡に行われていることは喜ばしい限りであります。

バドミントンに親しむことによつて、多くの仲間に出会うことができる、また、楽しいひと時を過ごすことができる、その最も大切なことは、お互いのスポーツを通して、元気で長生きが出来ることの証しを広く多くの方々に知らしめていくことでしよう。私も仲間に入れていただき、皆様方の澁刺としたプレーを拝見するたびに、元氣と勇氣をいただいております。これからも組織において足手まといにならないように、私なりに一生懸命与えられた役目を果たして参りたいと考えておりますので、今後ともご指導いただきますようお願いを申し上げますたいと存じます。最後に今年一年皆様方にとりまして、良い年でありますようお願い、その責任を果たさせていただきますたいと思ひます。



世界バドミントン連盟 (BWF) 公認大会 ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009 大会役員の皆様

第27回全日本レディースバドミントン選手権大会

期日 平成21年7月23日(木)～26日(日)
会場 サン・ピーチOKAYAMA
岡山市総合文化体育館(岡山市)

岡山県レディースバドミントン連盟理事長

磯永 由美

第27回全日本レディースバドミントン選手権大会を、平成21年7月23日～26日に、サン・ピーチOKAYAMA及び岡山市総合文化体育館において、都道府県対抗44チーム・クラブ対抗46チーム総勢844名の選手を迎えて開催致しました。

岡山のイメージを元に、「音楽とマスクット」をテーマに実施しました。開会式、閉会式はもちろん試合開始までの時間も、音楽で盛り上げました。名産のマスクットとマスクットグリーンが会場の色々な所で、目に付いたのではないのでしょうか。役員Tシャツ、名札、プログラムの表紙、参加賞のペンケースのロゴの色にもこだわったのですが、この連盟だよりを読まれて納得される方が多いかと思われます。いかがでしたか？

連盟登録数220名程度の岡山で開催が決まった時、県協会の藤原理事長より「開催するにあたっての裏づけ、根拠は？ないのなら、今からでも断るべき」と言われました。レディース連盟の心構えを確認されたかったのですが、これは大変な事になったと、今思い出しても冷

や汗が出ます。それからの約3年間、役員と資金確保に奔走しました。44名だった審判員有資格者を74名に増やし、審判講習会を何度も実施して自信を付けました。不足の人員は、他連盟に協力依頼したり、バドミントンから遠ざかっている人にも声掛けして何とかスタッフを集めました。資金面では、各種の物品販売、広告、協賛金集めを行いました。物品販売では、中国地区の皆さんにも大いに協力して頂きました。クラブ単位でお願いした協賛金では、連盟登録者以外の方も含めたたくさんの方からのご寄付に、人との繋がりの有難さを感じずにはいられませんでした。

無事大会を終え、小規模連盟だったからこそ会長以下役員全員が危機感を持って担当業務に従事し、色々な局面を乗り越えられたのだと思います。精神的に大変な思いもしましたが、達成感は何物にも代えがたい経験でした。

ご支援、ご協力頂きました協賛会社、日本バドミントン協会、日本レディース連盟、地元の関係機関の皆様方をはじめ、大会に携わって頂いた全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



岡山県 大会役員の皆様



選手宣誓
岡山県 香山百合子(左)・立野美幸選手



開会式整列 岡山県 A.Bチーム



岡山県 ベンチ応援

クラブ対抗戦 成績表

優 勝	宝塚 (兵庫県)
2 位	あいCLUB(大阪府)
3 位	Shot' 04(千葉県)
3 位	豊田 (愛知県)



クラブ対抗戦 優勝 宝塚 (兵庫県)



クラブ対抗戦 2位 あいCLUB(大阪府)



クラブ対抗戦 3位 Shot' 04(千葉県)



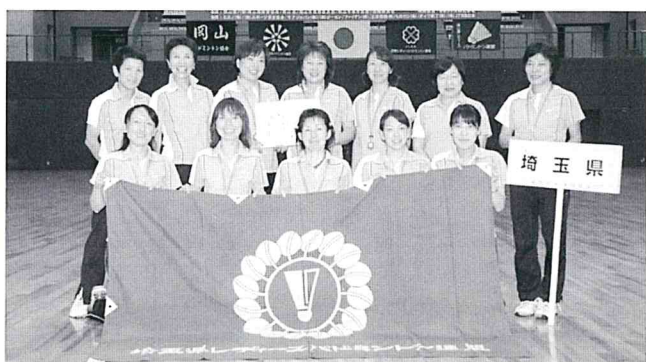
クラブ対抗戦 3位 豊田 (愛知県)

都道府県対抗戦 成績表

優 勝	福 岡 県
2 位	埼 玉 県
3 位	千 葉 県
3 位	兵 庫 県



都道府県対抗戦 優勝 福岡県



都道府県対抗戦 2位 埼玉県



都道府県対抗戦 3位 千葉県



都道府県対抗戦 3位 兵庫県



YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2009

Date: Friday Oct.23,2009-Sunday Oct.25,2009 OSAKA,JAPAN

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009終了しました

大阪府レディースバドミントン連盟

理事長 廣瀬 園子

標記大会を、各方面の皆さまのご協力を得て無事終了いたしました。心からの感謝とともに、ほんとと安堵したというのが正直な実感です。従来の、一府県である大阪府レディース連盟の主催・主管から、今回財団法人日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟の主催となり、はたまたBWFの公認をいただき、ヨネックス株式会社という冠まで載せていただきました。その光栄に恥じぬよう、参加いただく皆様に満足していただく大会にすることが目標でした。私たち連盟役員一同、身の引き締まる思いの中で、できる限りの心を込めて準備をし、大会に臨みました。

232チーム、1,703名ものご参加をいただいたことは、驚きであり感動でした。この大会を支持して下さる選手がこれだけいる。日本国内は勿論、海外にも同じ思いのバドミントン愛好者がいるに違いない。スポーツに国境はありません。ラケットで繋

ぐ友好の輪を世界に広げたい。夢は大きく広がります。言葉の壁や年齢を超えて、生涯を通じバドミントンを楽しむこと、これからのこの思いを大切に主管させていただき、この大会の発展をお手伝いさせていただきたいと思っています。どうか皆様も大会で発揮されたあの凄くエネルギーを再び会場へ届けて下さい。共に世界に通じる楽しい大会を作って行きたいと思っています。

第1種大会として主管をするとは以前とはやや勝手が違い、不行き届きの点も多くあったと思います。しかしその中で、ご参加いただく皆様の笑顔が私達の一歩の励みです。これからもご意見等あればどうぞ遠慮なく指摘下さい。限られた会場での有効な試合運営も課題です。海外選手の募集についても、皆様の友人知己を是非ご紹介下さい。すでに2010年の大会に向かって私達はスタートいたしました。最後に主管させていただくにあたり、沢山のご指導ご協力をいただいた関係各方面の皆さまに厚くお礼を申し上げます。



Aゾーン 優勝 韓国 (A) チーム



開会式での参加選手



Super Crew (U.S.A.)



OCBC TEAM DIVAS (U.S.A.)



韓国選手団



大会期間中ピンクリボン啓発活動の一環として乳がん検診が行われました。

ゾーン	優 勝	準優勝	3 位
A	韓国 (A) (韓国)	USA&大阪 (USA・大阪府)	響 (滋賀県)
B	中華台北 (中華民国)	雄飛 (京都府)	奈良水鳥クラブ (A) (奈良県)
C	沙羅クラブ (A) (奈良県)	宝塚 (B) (兵庫県)	桜ヶ丘クラブ (A) (大阪府)
D	四日市クラブ (B) (三重県)	河内長野クラブ (B) (大阪府)	東大和レディース (東京都)
E	東京 (B) (東京都)	千葉 (千葉県)	ミラクルパワー (埼玉県)
F	東京 (D) (東京都)	O.B.B (奈良県)	Mix (茨城県)
G	東京 (F) (東京都)	コスモス (神奈川県)	O.B.PALS (C) (埼玉県)



Eゾーン 優勝 東京 (B) (東京都)



Bゾーン 優勝 中華台北 (中華民国)



Fゾーン 優勝 東京 (D) (東京都)



Cゾーン 優勝 沙羅クラブ (A) (奈良県)



Gゾーン 優勝 東京 (F) (東京都)



Dゾーン 優勝 四日市クラブ (B) (三重県)

第4回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

期日 平成22年2月26日(金)～28日(日)
会場 水戸プラザホテル(開会式)
ひたちなか市総合運動公園体育館
茨城県立スポーツセンター

第4回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)を主管して

茨城県レディースバドミントン連盟理事長 保坂 信子



第4回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)を平成22年2月26日～28日、ひたちなか市総合運動公園体育館、東海村総合体育館、県立スポーツセンターにおいて36都道府県722名を迎えて開催いたしました。

茨城県で全国大会を行うという夢のような話が現実となった時から、私達で出来る事は何かを生懸命に考えました。そして、手作りの温かみのある大会になるように、県協会に加盟している全団体に協力をいただき、各担当に分かれてアイデアを出し合いました。大きな大会を経験した事が少なく、不安を抱えての船出でしたが、日本レディース連盟の役員の皆様に教えていただきながら、一つ一つ積み重ねていく中でやっと形が出来上がり、大会開催になるまで随分時間がかかりました。今は良い経験をさせていただいた事を感謝しております。

大会中は雨や雪が続く、お越しいただいた選手の皆様には大変なことでしたが、各会場は熱気あふれる試合が行われ、私達に元気と気力を与えてくれました。日本レディースバドミントン

連盟の基本方針の広い視野に立った生涯スポーツの実践、全日本大会(個人戦)の更なる充実を図る良い大会になったと思います。また、大会運営中は何かと行き届かないことがあったと思いますが、あなたがたの言葉をかけてくださりありがとうございました。

最後になりましたが、大会開催にあたりご指導いただきました日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟の役員の皆様、各協賛会社様、前開催地の京都府連盟の皆様にお礼を申しあげ、報告とさせていただきます。



暖かい雰囲気の中で楽しく盛り上がる懇親会
写真中央：
幡谷茨城県レディースバドミントン連盟会長

	優勝	準優勝	3位
1部	西城 真理子 (エバーグリーン) 深澤 恵 (フレッシュグリーン) [東京都]	常井 理佐 (桜丘クラブ) 岡 順子 (清水クラブ) [大阪府]	畑 末 絵理香 (川西) 河 田 友美 (緑ヶ丘) [兵庫県]
2部 Aブロック	松澤 志保 (たまき) 老本 真理子 (シャトル) [富山県]	武田 佳代 (くつが) 高橋 尚子 (橋の葉レディース) [栃木県]	後藤 明子 (フリーバード) 白石 美子 (フリーバード) [福岡県]
2部 Bブロック	土屋 展子 (鴻鳥クラブ) 岩井 直子 (ファルコン) [東京都]	菅原 千代 (ワンプoint部山) 増子 久美子 (郡山ホビーB.C.) [福島県]	大島 実穂 (やよい) 高崎 朋子 (ふじクラブ) [東京都]
2部 Cブロック	岩崎 千春 (川口フェローズ) 高 原 真由美 (川口フェローズ) [埼玉県]	稲田 百合 (あい&あい) 高 垣 尚美 (あい&あい) [兵庫県]	篠崎 悦子 (あひるクラブ) 落合 愛美 (あひるクラブ) [栃木県]
2部 Dブロック	松崎 厚子 (シャトルフレンズ) 木村 幸美 (シャトルフレンズ) [千葉県]	山本 邦子 (沙羅クラブ) 児玉 幸代 (沙羅クラブ) [奈良県]	岩垣 徳子 (富士見クラブ) 加藤 悦子 (川越美羽クラブ) [埼玉県]
2部 Eブロック	藤本 雅子 (西東京クラブ) 松村 美智子 (アユアユ) [東京都]	佐々木 小夜子 (MIXドロップ) 伊藤 育子 (MIXドロップ) [宮城県]	門間 由美子 (豊田) 太田 礼子 (豊田) [愛知県]
2部 Fブロック	宮崎 美江子 (調布エレガンス) 田 倉 テイチ (府中) [東京都]	鈴木 眞江 (BLVD) 野 尻 はるひ (BLVD) [茨城県]	木伏 千鶴子 (リリス) 梯 栄子 (板橋レディース) [東京都]
2部 Gブロック	大庭 弘子 (オーロラ) 佐藤 マツノ (オーロラ) [神奈川県]	宮本 容子 (三鷹ロビンス) 米口 順子 (若草会) [東京都]	桶本 百合子 (セピア) 香月 美津子 (黒崎) [福岡県]
2部 Hブロック	平野 あき子 (りんどうC) 伊藤 良子 (りんどう) [長野県]	細川 詔子 (上尾クラブ) 渡辺 英子 (所沢クラブ) [埼玉県]	河内山 由利子 (藤崎) 内田 紅美子 (フルーリース) [福岡県]
2部 Iブロック	深町 寛子 (加須さつき) 大塚 かつ江 (与野撫子) [埼玉県]	山田 ミヨ子 (大鷲) 佐々木 洋子 (オリーブ) [東京都]	江原 美智子 (ラフランス) 横山 和子 (秋桜) [長崎県]

「嬉しい！」の一言です。準決勝、決勝と苦しい戦いが続きましたが、お互いの役割が最後までしっかりと続けられたので、勝ちにつながったと思います。前回の京都では、3位という結果で、今回はその悔しい気持ちをぶつけることができました。回が重なることに参加者も増えているので次回はまた新たな気持ちで臨みたいです。



1部(A)ブロック 西城 真理子
深澤 友恵



水戸プラザホテルに於いて開会式



2部(G)ブロック 大庭 弘子
佐藤 マツノ

第2回大会は、優勝できましたが、前回ではリーグを抜けられず悔しい思いでした。今回は一試合一試合集中して、二人で気持ちを合わせ、声を掛け合い頑張りました。優勝できて本当に幸せです。ありがとうございました。



2部(D)ブロック 松崎 厚子
木村 幸美

第2回から参加し、3度目の今回で念願の優勝をすることができました。お隣の茨城県開催の地で優勝でき、とても嬉しいです。大会スタッフの皆様、大変お世話になりました。



2部(A)ブロック 老本 真理子
松澤 志保

決勝戦は、相手の棄権という形で終わってしまいい残ります。いろいろな選手のプレーを見ることができよい勉強になりました。今回の経験を生かし、今後の練習に励んでいきたいと思っています。



2部(H)ブロック 伊藤 良子
平野 あき子

大会運営、お疲れ様でした。大変なお仕事を目の当たりにでき、これから開催予定の私達には大変参考になり、勉強になりました。ラッキーな面もありまして優勝できましたこと、大変嬉しく思います。これからも体をケアしながら日々頑張りたいと思います。



2部(E)ブロック 藤本 雅子
松村 美智子

役員の皆様、各関係者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。初出場で優勝できて大変嬉しく思っています。怪我のない日々を過ごし、練習に精を出して、または是非参加させていただきたいと思っています。



2部(B)ブロック 岩井 直子
土屋 展子

年代別に参加するのが初めてだったので初戦からとても緊張しましたが、優勝という結果を素直に嬉しく思います。これがいつも一緒に練習している仲間の励みになって、私達のさらなる一歩につながれば最高です。



2部(I)ブロック 深町 寛子
大塚 かつ江

栄誉あるこの大会に優勝できたことをとても嬉しく誇りに思います。お互いに信頼しあい、楽しくプレーした結果頂点にたつことが出来、パートナーに感謝！感謝！応援してくださった大勢の皆様の声援にも心から感謝しております。大会関係者の皆様ありがとうございました。



2部(F)ブロック 田倉 テイ子
宮崎 美江子

大変お世話になりました。目標にしていた大会なので優勝できて嬉しいです。来年も故障しないで大会に参加できるよう頑張りたいと思います。



2部(C)ブロック 岩崎 千春
高原 真由美

今年は二人で組んで40代デビュー。この試合を出発にまたがんばっていきなさい。一つでも多くの試合に勝てるように勉強していきたいです。今日はとても嬉しいです。



北海道ブロック理事

北海道 渡辺 由美子

平成20年10月ロサンゼルス国際親善大会、12月京都での個人戦、そして21年ヨネックス杯と立て続けに大会に参加させて頂きました。

今までは、年齢的にも若さという健康のためという思いで汗を流す程度の楽しいバドミントンでしたから、同年代の方々と対戦したらコートの中に立つただけで迫力を感じ、気持ちで負けている自分がいました。団体戦では、応援にも熱が入り、勝ち負けより皆で戦ったという満足感のほうが大きいのですが、今年は勝ちたいという意欲を少しでも持って試合に挑むつもりでいます。体力、特に足が動くかどうかが一番の問題です。

平成4年第10回、そして平成13年第19回と札幌で全日本レディースバドミントン選手権大会が開催されました。10回大会では実行部隊として会場設営等走り回り3kg減、19回大会は競技運営に携わりいくつかの反省点を残しました。

平成24年第30回大会を札幌で開催とのこと、準備期間も長いので今までの経験を生かし皆様に楽しんで頂き、そして美味しい物をたくさん食べて北海道を満喫し、満足していただける様、役員スタッフ一同頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

東北ブロック評議員

岩手県 宮崎 和子

関係各位のご協力により、東北6県持ち回りで行われている団体戦「第16回東北地区レディースバドミントン大会」を平成21年10月24、25日にかけて岩手県で開催いたしました。今までの1部、2部の他に今回新たに56歳以上のシニアの部、3部を設けたこと、各県代表の合計22チーム、172名の参加でした。

24日の開会式及びレセプションは盛岡市のつなぎ温泉で行いました。岩手ながらの特色を出そうと、岩手県の北上地方に伝わる「北上鬼舞」という鬼の面をかぶった踊りの民俗芸能を披露いたしました。最後のお楽しみ抽選会では、いつもお付き合いを頂いている各スポーツ店様からの提供品が多く、偶然にもラケットがペーパーのお二人に当たったりと大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。翌25日の試合では、新たに設けた3部は56歳以上であれば誰でも参加できるようにいたしました。その結果、従来の大会では応援にまわっていた各県の役員さん方の参加が多く、大変白熱した試合も数多く見られました。限られたコート数と部が増えた事で終了時間に不安はありましたが、ほぼ予定通り終了することができ盛岡の大会となりました。

北信越ブロック常任理事

富山県 岡田 啓子

北信越ブロック、5県の持ち回りで行っている、クラブ対抗戦も回を重ねて26回になりました。

21年度は富山県が主管させて頂き、盛大に行うことができました。いつも感じていることは、交流大会の部は、4、5百名の参加があり、1部、3部シニアの部に分かれて白熱した試合が繰り広げられました。しかし全大会予選の部は、5、6チームの参加しかなく、さみしき限りです。現状の参加資格に沿えば仕方ないことではあります。しかし明るい兆しもあり、富山県では、2、3年前から、20代の選手にレディースの大会への参加を呼びかけ、強化練習を開催したりと努力の甲斐があり若い層の会員登録数も増えてきつつあり、将来の展望も開けてきそうながさを感じております。

東海ブロック理事

愛知県 堀尾 恵美子

平成21年度より、東海ブロックの理事に就任致しました。日本レディース理事会に参加するたびに右も左もわからない事ばかりですが、私なりに進めたらと思うております。

21年度、東海ブロック大会「団体戦」(5月)を静岡県で「個人戦」(11月)を岐阜県で開催致しました。毎年のことはありますが、選手の方々の頑張る姿が層まじき様に思います。

11月のブロック理事長会議では、静岡、岐阜、三重、愛知の4県共に若手の人材確保、育成、また全国レディース競技大会「個人戦」への選手参加等、活発に意見交換を致しました。

中国ブロック評議員

島根県 錦織 陽子

本年度より理事長となりました。初めて日レの総会や中国地区大会、理事長会への参加等二つ体験する中で、私で大丈夫かという思いで一杯になりますが、中国地区の理事長の方々に都度教えていたたけるので助かっています。

島根県は、レディースの会員も少なく地理的にも長い県で情報の伝達等不便な事も多々あり、県内大会と言っても松江、出雲部中心となり、振興、発展には苦

労する所が大きいです。

そうした中、来年は連盟発足25周年を迎えるに至りました。発足当時は、全国大会や、中国大会でさえ参加する意思の人がなく、毎年頭を抱える状況だったと聞いております。20余年経ち、毎年の呼び掛けや島根での全国大会開催に会員の意欲も向上し、今では率先して参加してもらえるようになりました。

四国ブロック理事

高知県 中村 聡子

平成21年11月3日(火)「高知県よさこいレディースオープンバドミントン大会」を開催しました。以前は、県外の大会に参加することもなかった私たちが、5年前、西日本大会の最後となる高知県大会を主催できたことを機に、全国大会に参加するようになり、昨年は念願の1勝ができました。高知県レディース連盟としては大きな飛躍となり、これからは大いに県外大会へ参加して交流を深め、また全国各地から高知県へ来ていただきたく、県連盟が丸となってこの大会を開催する運びとなりました。

この大会に四国4県(岡山県、遠くは山梨県から参加をいただき、242名、48チーム)の選手を高知県総合体育館に迎え、楽しく1日を過ごして交流できたことに感激しました。これから課題は多くありますが、参加いただいた方々から「たのしかった」「また行きたい」「このお便りや声に嬉しく、胸が熱くなりました。土佐の高知を味わえる大会として、今後とも頑張りたい」と思っています。

今年は、大河ドラマ「龍馬伝」が放送され、ドラマとタイアップした「土佐・龍馬であい博」が1月16日から1年間開催されており、メイン会場として高知市のドラマのテーマ館「高知・龍馬まんじゅう」でサテライト会場として岩崎太郎の生家のある安芸市・三ツ宮万次郎出身の土佐清水市、「脱藩の道」のある高岡郡橋原町の3ヶ所で催されています。

今年の「よさこいレディースオープン大会」は11月3日水曜日に予定しております。この機会にぜひ四国各地に足をお運びくださいますようお願いしております。

九州ブロック常任理事

大分県 綿谷 信子

九州ブロックでは、年一回年齢別県対抗団体戦を実施。第31回全九州レディースバドミントン選手権大会は、10月11日大分県別府市総合体育館で開催されました。30代から60代による六種目に350人の選手が出場し、予選リーグから白熱したラリーの応酬がみられ活気に満ちた大会になりました。

大会前日の監督会議終了後に各県理事長が集まり、日レの相談、連絡を行いました。今回で4回目の大分大会でしたが、ケガ人もなく無事終了。皆様の協力に感謝し、今後も本大会が発展するよう努力していきます。

編集後記

今年も無事に連盟だよりを皆様にお届けすることができホッとしております。

成功裡に終了いたしました先日個人戦での取材活動も主管地の茨城県や関東ブロックの皆様にご協力いただきスムーズにすすめることができました。お疲れのところほんとうにありがとうございました。

二月末までのバンクーバーオリンピックは連日私達の目をテレビの前に釘付けにする魅力がありました。オリンピックをきっかけに各競技への関心が高まるのは当然のことでしょう。バドミントンももっととメジャー化できるイベントやきっかけを切望しています。そのために、レディース連盟が実行したり応援できる何かをと思うのですが、よいアイデアがあれば是非教えてください。

連盟だより第9号についてのご感想もいろいろお聞かせいただきたいと思います。

《広報部員》

西大條 和子 土肥 昌代
清水 公子 宇山 昌子

発行

日本レディースバドミントン連盟
大阪府八尾市福万寺町南 二四三二八

TEL 07-921-3170
FAX 07-921-3171
Mail nichijal@kawachi.zaq.ne.jp
URL http://www.jibad.gr.jp

責任者 村井 広美
編集 広 報 部